

学びのひろば

※記載がない場合、開催場所は各館

※電話で各施設に申し込んでください

■学びの館 ☎0823-42-1145

市民ギャラリー

「江田島市観光フォトコンテスト全作品展」

出展者 江田島市観光協会

「わたしの好きな江田島」応募全作品を展示します。お楽しみください。

展示期間 9月1日(日)～30日(月)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(火・祝除く)

入場料 無料



ものづくり講座

「陶芸教室」江田島焼

オリジナルな作品を作りましょう！

日時 9月21日(土)午前10時～正午

講師 沖山努さん

参加費 1,100円

定員 10人(保護者同伴可)



「煎茶会」

久枝家とゆかりの深い煎茶を学びの館で楽しみましょう。

日時 9月15日(日)

午前10時～午後1時

講師 西村智泉さん

参加費 600円(点前体験は1,000円)

申込期限 9月12日(木)



■江田島市民センター別館

☎0823-42-0015

「秋の和菓子(練り切り)教室」

手作り和菓子(練り切り)を作ってみませんか！

日時 9月26日(木)午前10時～正午

講師 久保文子さん

対象 どなたでも

定員 8人 参加費 600円

申込期限 9月12日(木)



「ふるさとの歴史を学ぶ企画展「大君と安徳天皇」」

寿永4(1185)年に大君(旧名大実)に滞在した安徳天皇等の歴史を学習する「大君の歴史を啓発する会」による企画展です。平清盛誕生から平氏滅亡までを年表にして、安徳天皇や建礼門院等の生涯をパネル展示します。

日時 9月9日(月)～30日(月)

その他 大君の歴史を学ぶ学習資料を販売します。

■大柿市民センター

☎0823-57-3009

「ハロウィンの小物入れをつくろう！」

クラフトテープを使ってカボチャのかごを作りましょう！

日時 9月28日(土)午前10時～正午

講師 浜先ゆかりさん

参加費 500円

定員 15人(低学年以下は保護者同伴で)

準備物 ハサミ、ボンド、洗濯バサミ10個程度

申込期限 9月20日(金)



「太極拳入門講座」

ゆったりとした音楽に合わせて体を動かしましょう！

日時 10月7日(月)

午前10時30分～正午

講師 世良弥嘉子さん(太極拳公認指導員)

定員 15人 参加費 無料

準備物 動きやすい服装、底の薄い上靴(あれば)、タオル、飲み物

申込期限 10月4日(金)



■さとうみ科学館☎0823-57-2613

9月の休日開館！

そうだ！さとうみ科学館に行こう！

休日開館のお知らせ！

9月も全土曜日を開館しています。

休日開館日 毎週土曜日

時間 午前9時30分～午後5時

※入館は午後4時30分まで。

入館料 無料

さとうみ科学館HP



【ガザミ】(甲殻綱エビ目ワタリガニ科)

本市のめざす教育 「江田島市の学び」のリーフレット作成

令和6年

江田島市の学び

学ぶ喜び つながる楽しさ



本年7月、教育委員会では、本市で取り組みを進めている「江田島市の学び」のリーフレットを作成しました。本市では「学ぶ喜び つながる楽しさ」をキャッチフレーズに、全てのこどもたちの可能性を最大限に引き出すことを目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて取り組んでいます。

みんなを「そろえる」教育から一人一人の可能性を「伸ばす」教育への転換を実現していきます。

リーフレットの詳細は、江田島市教育委員会ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



▲市教育委員会 HP

作成したリーフレット表紙▶

「さとうみ学習」教職員向けの研修を実施

8月8日(木)、本市で展開している特色ある取組「さとうみ学習」の更なる充実に向けて市内教職員対象の研修を実施しました。

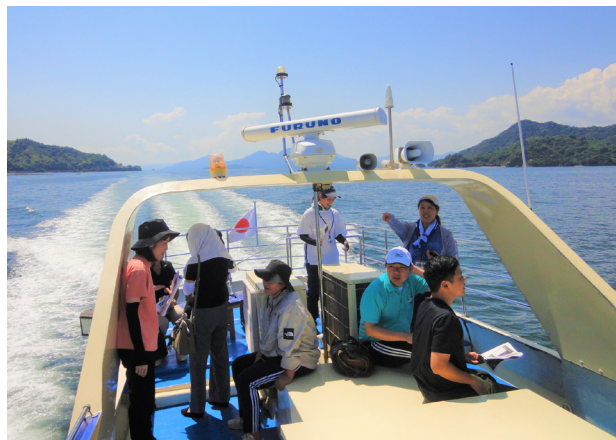
前半は、笹川平和財団の方を講師として「海洋教育パイオニアスクールプログラムについて」「海辺での活動におけるリスクマネジメント」と題し、先進的に行われている海洋教育の事例について学んだり、海辺の写真からリスクを予想するワークショップ型の研修を行ったりしました。

後半は、チャーターした船舶に乗って江田島市の周りを一周する実地研修「江田島ぐるリクルージング研修」を行いました。この実地研修では、海から見た江田島市を、文化・産業・歴史・自然などの切り口で再発見し、「さとうみ学習」推進のための教材化につなげました。

参加した教職員から、「江田島市の知らないところを沢山知ることができた。教育資源が近くにあるので、授業の中で生かせないか考え、取り入れてみたい。」「これまでに行ってきた体験活動を、体験だけに終わらせるのではなく、今後の学びにどうつなげ、生かしていくかを考えていかなければならない。」などの声が上がりました。



▲ワークショップの様子



▲クルージング研修の様子

